



ボタン & ポット ドリッパー

オンラインドリッパー



ボタンドリッパー



ポットドリッパー

使用場所

- 温室、育苗棟

特徴と利点

- 広く深い流路を持つTurboNet™ 構造のラビリンスにより、目詰まりしにくくなっています。
- ドリッパーを必要な位置に取り付けられます。
- 植物の要求量に合わせてドリッパーを増やせます。
- スパイダーセットで吐出口を分岐させて灌水ポイントを増やせます。

仕様

- 最高水圧: 2.0 bar.
- 広い流路を持つTurboNet™ ラビリンス
- 推奨フィルター: 130 ミクロン / 120 メッシュ
ろ過方法は原水中に存在する汚濁粒子の種類と濃度に基づいて選択します。2ppmを超える砂が存在する場合はメインフィルターの前にハイドロサイクロンフィルターを設置します。砂・シルト・粘土の固形分が100ppmを超える場合はネタフィムの専門チームの指示に従い前処理を施します。
- 3種類の吐出量があります。
- ボタンドリッパーは厚さ0.9,1.0,1.2mmのポリエチレンパイプに差し込んで使います。
- ポットドリッパーには3x5mmマイクロチューブを接続します。
- 射出成型によって製造された吐出量のバラつきが非常に小さいドリッパーです。

ドリッパーテクニカルデータ

ボタンドリッパー/ポットドリッパー共通

吐出量* (L/h)	最高水圧 (bar)	ラビリンス流路サイズ 幅-深さ-長さ (MM)	ドリッパー-定数 K	ドリッパー-指数 X	基部の色	上部の色
2.00	2.0	0.98 x 0.89 x 50	0.662	0.48	赤	黒
4.00	2.0	1.27 x 1.20 x 50	1.325	0.48	黒	黒
8.00	2.0	1.65 x 1.40 x 50	2.649	0.48	緑	黒

この吐出量は水圧 1.0barの時の値です。水圧P(bar)のときの吐出量Q(L/h)は $Q=K(P*10)^X$ です。